

■ 施策評価シート 20-01-①

まちづくりの基本目標	「魅力」あふれるまち	分野	都市形成
基本方針	都市と住環境の質・魅力向上	基本方針に関連するSDGsの目標	  
施策番号	20-01-①	施策名	土地利用の適切な誘導

<p>施策の概要</p> <p>都市基盤施設と宅地の一体的な整備を進めるとともに、都市計画法等に基づく指導等を行うことにより、適切な土地利用の誘導を図ります。</p>
---

成果指標(単位)	「都市と住環境の質・魅力向上」に満足している市民の割合(%)				
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値	(※基準値)	17.0	18.0	19.0	20.0
実績値	16.3	21.2	19.4	19.5	21.0

<p>成果指標実績に対するコメント</p> <p>市民意識調査の結果、「都市と住環境の質・魅力向上」に満足している市民の割合は、前年度に比べ1.5ポイント増加し、目標値を達成することができた。開発審査等の手続きを適正に進め、適切な土地利用の誘導を図った結果、都市と住環境の質や魅力に対する市民の一定の評価が表れたものとする。</p>
--

<p>施策の達成度評価</p> <p>法令に基づき一定規模以上の土地の売買にかかる届出事務を行うことで、適正かつ合理的な土地利用の確保・誘導を図ることができた。また、草津市開発行為の手続および基準等に関する条例、規則などに則った開発審査事務を行うことで、良好な環境の確保と調和のとれた土地利用がなされるよう努めることができた。</p> <p>引き続き、法令等に則って適正に届出や申請がなされるよう周知していく必要がある。</p>
--

<p>評価に基づいた令和8年度の取組についての考え方</p> <p>引き続き、土地取引にかかる届出事務や開発審査事務などを通じて、適正かつ合理的な土地利用の確保・誘導や良好な環境の確保と調和のとれた土地利用に努め、持続可能な都市構造を実現、維持していく。</p>
---

■ 施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
土地取引届出勧告事務	都市計画課	○	国土利用計画法の届出制度は、適正かつ合理的な土地利用の確保を図るため、一定規模以上の土地取引について、取引段階での審査を行うものであり、令和6年度は18件の届出について、内容確認および県への経由事務を適正に行うことができた。
開発審査事務	開発調整課	○	開発行為許可申請に対して、草津市開発行為の手続および基準等に関する条例、規則等に則しているかを審査した。それらを経て、令和6年度においては79件の開発行為を許可し、良好な環境の確保と調和のとれた土地利用がなされるよう努めることができた。

■ 施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
地籍調査事業	土木管理課
特定旅館建築規制事務	建築政策課
土地区画整理事業	都市計画課

成果達成度の表示について

◎ 期待を超える成果があった  
○ 期待どおりの成果があった  
△ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■ 施策評価シート 20-01-②

まちづくりの基本目標	「魅力」あふれるまち	分野	都市形成
基本方針	都市と住環境の質・魅力向上	基本方針に関連するSDGsの目標	  
施策番号	20-01-②	施策名	良質な住宅資産の形成

施策の概要

長期優良住宅等の良質で安全な新築住宅の供給促進に加え、既存住宅の適切な維持管理やリフォーム促進により良質な住宅ストックを形成することにより、次世代にも継承される住宅資産への転換を進め、良質な住宅の安定供給・有効活用を図ります。

成果指標(単位)	住宅地などの住まいの環境がよいと感じている市民の割合(%)				
	令和2年度 (※基準値)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値		72.0	73.0	74.0	75.0
実績値	71.1	69.1	70.4	69.8	72.2

成果指標実績に対するコメント

目標値には達しなかったものの、前年から2.4ポイント増加しており、住宅地などの住まいの環境がよいと感じている市民の割合は増加傾向にある。  
 今後も、引き続き現在の施策を推進するとともに、より効果的な施策の検討を図ることで住まいの環境がよいと感じてもらえるよう取り組んでいく必要がある。

施策の達成度評価

長期優良住宅等の良質で安全な住宅の供給は着実に進んでいるところであり、市民等への普及啓発が進んでいるものと評価する。また、老朽化した住宅や耐震基準を満たさない住宅の適正管理等についても、引き続き啓発、指導に取り組むこと等を通じて、良質な住宅資産の形成を図っていく必要がある。

評価に基づいた令和8年度の取組についての考え方

引き続き、長期優良住宅等の供給促進および、既存住宅の適切な維持管理やリフォーム促進等に取り組む。

■ 施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
建築物等確認事務	建築政策課	○	建築確認申請に適正に対応する等、特定行政庁としての事務を遂行した。

■ 施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
改良住宅譲渡推進事業	市営住宅課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未達の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■ 施策評価シート 20-01-③

まちづくりの基本目標	「魅力」あふれるまち	分野	都市形成
基本方針	都市と住環境の質・魅力向上	基本方針に関連するSDGsの目標	  
施策番号	20-01-③	施策名	空き家等の対策の推進

<p>施策の概要</p> <p>空き家等の適正管理や有効活用の促進により、防災・衛生・景観等の生活環境への影響を抑制するとともに良好な住環境を確保していくための対策の推進を図ります。</p>
---

成果指標(単位)	都市と住環境の質・魅力向上に重要性を感じている市民の割合(%)				
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値	(※基準値)	49.0	50.0	51.0	52.0
実績値	47.8	57.3	56.6	57.8	55.5

<p>成果指標実績に対するコメント</p> <p>前年度と同様に目標値を上回ることができた。今後も引き続き、草津市住生活基本計画に基づき、空き家等の適正管理に取り組むことで、都市と住環境の質・魅力向上を推進していく必要がある。</p>
---

<p>施策の達成度評価</p> <p>県内不動産団体と連携し、住宅の相続セミナーや空き家相談員派遣事業を進めた結果、空き家等の適正管理や有効活用の促進を図ることができた。今後も、引き続き空き家等にかかる啓発や支援の推進を通じて、都市と住環境の質・魅力向上を推し進める必要がある。</p>
---

<p>評価に基づいた令和8年度の取組についての考え方</p> <p>引き続き、草津市住生活基本計画に基づき、空き家等の発生抑制や適正管理、有効活用の促進等に向けた啓発や支援に取り組む。</p>
--

■ 施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
住宅政策推進事業	建築政策課	○	空き家等の発生抑制や適正管理、有効活用の促進にかかる事業を推進した。

■ 施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未達の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■ 施策評価シート 20-02-①

まちづくりの基本目標	「魅力」あふれるまち	分野	都市形成
基本方針	まちなかの魅力向上と地域再生の推進	基本方針に関連するSDGsの目標	  
施策番号	20-02-①	施策名	にぎわいのある市街地の形成

**施策の概要**

市民が生き生きと輝き、安心して暮らすことができるコンパクトでにぎわいあるまちを目指すため、公共空間の活用による都市魅力の構築、歴史的まちなみや地域資源の活用、交流の促進等により、歩いて暮らせるまちづくりを進めます。

成果指標(単位)	“まちなか”に魅力があると感じる市民の割合(%)				
	令和2年度 (※基準値)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値		37.0	38.0	39.0	40.0
実績値	35.2	38.9	41.7	45.7	41.7

**成果指標実績に対するコメント**

市民意識調査の結果、「“まちなか”に魅力があると感じる市民の割合」は前年度に比べ4.0ポイント減少したが、目標値は達成した。公共空間を活用したイベントを行うなど、まちなかのにぎわいを継続的に創出するとともに、「草津駅周辺エリア未来ビジョン」を策定し、草津駅周辺のまちづくりについてビジョンを示したことに対して、市民が評価したものと考える。

**施策の達成度評価**

「中心市街地活性化基本計画(第2期)」に基づいたハード整備事業は計画どおり進捗し、市立プールが開業したことで、中心市街地活性化計画の指標である「健幸・観光・交流施設の利用者数」は大幅に増加するなど効果が見られた。今後は、整備された施設を活用したソフト事業を行い、にぎわいの効果を施設周辺へと波及させていく必要がある。

**評価に基づいた令和8年度の取組についての考え方**

令和6年度に策定した「草津駅周辺エリア未来ビジョン」にて、草津駅周辺のめざす将来像を示すことができたことから、「くさつまちなかエリアプラットフォーム」を中心に、官民で協議・連携しながら、めざす将来像の実現に向けて各種事業を進め、にぎわいの効果を波及させていく。

■ 施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
中心市街地活性化推進事業(土木費)	都市地域戦略課	○	「草津駅周辺エリア未来ビジョン」を策定し、草津駅周辺のまちづくりについて官民共通の指針を示すことができ、まちなかの魅力向上に寄与することができたため。
都市計画推進事業	都市計画課	○	草津市都市計画マスタープラン等に基づき、各種事業を実施した結果、コンパクト・プラス・ネットワークのまちづくりを推進することができたため。

■ 施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
都市計画審議会運営事務	都市計画課
都市計画推進事務	都市計画課
市街地街づくり推進事業	都市地域戦略課
都市計画推進事業	都市地域戦略課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策評価シート 20-02-②

まちづくりの基本目標	「魅力」あふれるまち	分野	都市形成
基本方針	まちなかの魅力向上と地域再生の推進	基本方針に関連するSDGsの目標	  
施策番号	20-02-②	施策名	地域の特性と資源を活かした地域再生の推進

<p>施策の概要</p> <p>新たな交流の創出、生活機能の確保や産業の振興等、さらなる活性化を図るため、郊外部における地域の特性と資源を活かします。</p>
---

成果指標(単位)	まちなかの魅力向上と地域再生の推進に満足している人の割合(%) (志津・老上・老上西・山田・笠縫・笠縫東・常盤学区)				
	令和2年度 (※基準値)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値		15.9	16.9	17.9	18.9
実績値	14.9	17.1	19.1	15.9	18.0

<p>成果指標実績に対するコメント</p> <p>市民意識調査の結果、「まちなかの魅力向上と地域再生の推進に満足している人の割合(志津・老上・老上西・山田・笠縫・笠縫東・常盤学区)」は、前年度から2.1ポイント増加したが、目標値を下回った。学区毎の満足度においても、老上学区・笠縫東学区を除いた5つの学区について目標値に届かない結果となった。「まちづくりプラン」について、志津学区、笠縫学区では、地域との協議・調整の結果、第2期プランの策定は次年度に行うこととしたことで、地域再生の推進が鈍化した印象を与えてしまったことが要因と考えられる。</p>
--

<p>施策の達成度評価</p> <p>志津学区、笠縫学区において、予定していた第2期プランの策定を次年度に行うこととした。一方で、山田学区では市街化調整区域における地区計画制度を活用した商業施設の設置が進み、また老上西学区では矢橋帰帆島の活性化に向けたワークショップが継続的に開催されるなど、地域再生に向けた取組を進めることができ、一定の効果が見られた。まちづくりプランに基づいた取組は着実に進められており、取組の効果を住民の実感に繋げていく取組を行っていくことが必要である。</p>
--

<p>評価に基づいた令和8年度の取組についての考え方</p> <p>各学区がまちづくりプランに基づいた取組をこれまで進めてきた結果、課題を解決しながら、地域再生の推進が図られてきた。引き続き、行政と地域が協働して取組が円滑に行える体制づくりを行い、さらなる取組を進めるとともに、第2期まちづくりプランを策定する過程で、これまでの成果や課題、地域の将来像を多くの住民と共有できる場を設け、地域再生に向けた取組を住民に実感してもらうことに努めていく。</p>
---

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
地域再生推進事業	都市地域戦略課	△	志津学区、笠縫学区において、予定していた第2期プランの策定を次年度に行うこととしたため。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未達の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■ 施策評価シート 20-03-①

まちづくりの基本目標	「魅力」あふれるまち	分野	都市形成
基本方針	良好な景観の保全と創出	基本方針に関連するSDGsの目標	  
施策番号	20-03-①	施策名	自然的・歴史的景観の保全と活用、都市景観の形成

<p>施策の概要</p> <p>景観形成重点地区の活用等により、豊かな自然景観や歴史文化の薫るまちなみの保全・活用、心地よさを感じる都市景観の創出に取り組み、ふるさと草津の心を育む景観形成を図ります。</p>
--

成果指標(単位)	「良好な景観の保全と創出」に満足している市民の割合(%)				
	令和2年度 (※基準値)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値		22.0	23.1	24.2	25.3
実績値	20.9	19.0	17.3	19.5	22.0

<p>成果指標実績に対するコメント</p> <p>市民意識調査の結果、「良好な景観の保全と創出」に満足している市民の割合は、目標値に達することができなかったが、前年度より2.5ポイント増加した。          景観計画や屋外広告物条例に基づく指導に加え、東海道草津宿本陣通りにて実施するファサード補助制度の推進などで歴史的まちなみ景観への誘導支援を図ってきたこと、また、大津市との連携施策として視点場の整備や東海道統一案内看板設置など、琵琶湖の眺望景観や東海道の歴史景観の保全・活用にむけた取組を継続してきた。</p>
---

<p>施策の達成度評価</p> <p>草津市景観計画に基づく届出により、景観形成基準に適合する建築物および工作物に制限することで、自然景観・歴史景観・都市景観の形成を進めることができた。また、景観形成重点地区における基準に基づき、建物や工作物の新築・改修の際に、より質の高い整備を求めることから、それに係る経費を補助し、歴史街道の景観形成に継続して取り組む必要がある。</p>
--

<p>評価に基づいた令和8年度の取組についての考え方</p> <p>引き続き、景観計画に基づく指導を行うことで、自然景観・歴史景観・都市景観の形成を進める。また、改定景観計画をもとに、市民や事業者等、景観づくりに取り組む各主体と連携し、良好な景観形成の実現に向けて総合的な景観づくりを進める。</p>
--

■ 施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
屋外広告物管理事務	都市計画課	○	屋外広告物の適正な管理と効率的な事務を行い、文書・口頭による申請指導や是正指導を進めた。
景観を生かしたまちづくり推進事業	都市計画課	○	景観計画に基づく指導等を進めることで、良好な景観形成を進めた。また、前年度作成した景観計画の骨子をもとに、景観計画を改定した。

■ 施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。